

桑名市総合医療センターニュース

第0033号 平成26年12月発行

お知らせ

健康診断部門の集約について

平成27年1月より健康診断部門を桑名東医療センターへ集約致します。集約に伴い、桑名西医療センターの人間ドック、特定健診、企業健診等の業務を終了致します。今後は、桑名東医療センターの健康診断をご利用ください。

桑名東医療センターでは、人間ドック基本コースに加え、脳ドックや婦人科検診など各種オプションもご用意しております。ぜひ一度ご相談ください。

予約方法	桑名東医療センター2階人間ドック室窓口にお越しいただくか、電話でお問い合わせください。
受付日時	月～金曜日 午後1～5時
お問合せ	電話：0594-22-2831 FAX：0594-22-1303

西医療センターヘルニア専門外来再開のお知らせ

平成25年7月から休診しておりましたヘルニア（鼠径）専門外来を平成26年12月より再開致します。

外来日：毎週金曜日 午後1時～3時（予約制）
担当医：吉山 繁幸医師（外科）
予約方法：外科外来へお電話ください ☎ 0594-22-7111（代表）
*患者様からの電話は午後2時～5時をお願いします。

鼠径部皮膚の腫れや違和感、つっぱり感などを訴え、泌尿器科、整形外科、婦人科などを受診し、鼠径ヘルニアが疑われ外科に紹介していただく患者様は少なくありません。

ヘルニア専門外来では、ヘルニアの種類・年齢・全身状態・既往歴・開腹歴などに応じ患者様と相談しながら最適な手術法を選択していきます。当院では腹腔鏡を用いたヘルニア修復術も積極的に取り入れております。症状のある方は、ご相談ください。

年末年始の休診について

桑名東・西・南医療センターでは、年末年始の診療につきまして下記の期間休診致します。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

平成26年12月27日（土）～1月4日（日）

1月5日（月）より通常の診療を行います。



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター



ピックアップ 西医療センター 歯科口腔外科より

桑名西医療センター 歯科口腔外科部長 大重 日出男

一般に歯科といえば、歯や歯肉の病気、つまり、齲蝕（虫歯）、歯周病（歯槽膿漏）、義歯（入れ歯）の治療に代表されます。しかしながら、実際には、歯科は、口腔（こうくう：くち）・顎（あご）・顔面（かお）のあらゆる疾患を取り扱う科です。また、ひとくちに歯科といっても、保存科、補綴（ほてつ）科、小児歯科、歯科矯正科、口腔外科など多くの専門科に分かれています。

市中病院における歯科口腔外科では、いわゆる親知らずなどの比較的困難な抜歯、高血圧や狭心症、心筋梗塞といった循環器疾患や糖尿病などの疾患を有する場合の抜歯、顎がガクガクして痛い（顎関節症：がくかんせつしょう）、顔が腫れた（顎炎（がくえん）などの感染症）、口腔（くち）・顎（あご）・顔面（かお）のけが（口腔および顔面軟組織の外傷、下顎骨折、上顎骨折、頬骨（きょうこつ：ほほぼね）骨折など）、舌や歯肉にできものができた（口腔がんなどの腫瘍性疾患）、三叉（さんさ）神経痛などの神経疾患、口が渇く（口腔乾燥症）、舌がひりひりする（舌痛症（ぜつつうしょう）などの口腔異常感症）、味が変（味覚異常）、その他全身疾患に関連した口腔（くち）・顎（あご）・顔面（かお）の症状など多くの疾患や症状に対応する必要があります。

処置や治療に関しては、緊急性を要する外傷や炎症などの急性疾患から慢性疾患まで様々ですし、局所麻酔で対応可能なものから、全身麻酔下での対応が必要なものまであります。

当院では、平成26年1月からの診療体制の変更に伴い、地域の二次医療機関として地域医療機関と密な連携をとりながら、地域における口腔外科基幹病院を目指しています。そのため、虫歯や歯周病や義歯の治療など一般的な歯科治療は、基本的にはかかりつけ開業歯科医を紹介させていただきシステムを取り、より専門的な疾患に対して、手術に代表される「口腔外科」としてだけでなく、ものがうまく飲み込めない、ムセるといった摂食嚥下障害や、他科（例えば外科、整形外科など）での全身麻酔下の手術前後の口腔管理、外来通院下での抗がん剤治療の際の口腔管理などを含め、「口腔科」としての役割を果たすべく努力することで地域医療に貢献していきたいと考えております。

口腔（くち）・顎（あご）・顔面（かお）に関することで何かございましたらいつでも相談していただければと存じます。

歯科口腔外科 外来日：月～金曜日 午前（予約制）

✿ 予約はTEL0594-22-7111へお電話ください。

患者様からの予約のお電話は午後2時～4時にお願ひ致します。

※一般的な歯科診療は行っておりません。



インフルエンザが流行し始めました

またまた嫌な季節がやってきました。インフルエンザに対しどのような心構えをしておけばよいか、簡単にまとめてみました。

(A) 通常のインフルエンザ

毎年冬に流行するインフルエンザで、A型とかB型とか云われるものです。

予防には、次のような点に注意しましょう。

1) ワクチンの接種：ワクチンを受ければインフルエンザにかからないということはありませんが、万が一かかったとしても症状は軽く済みます。

13歳以下のお子様の場合には2回投与になります。

2) こまめな手洗い：外出から帰ったら、石鹸や消毒液などを使って、ていねいに手洗いをすることが大切です。

3) 十分な栄養と睡眠：抵抗力が落ちると感染しやすくなりますので、規則正しい食事をして睡眠を十分にとりましょう。

4) 乾燥の防止：インフルエンザウィルスは乾燥した空気を好みますが湿気には弱いので部屋の中で加湿器を使うのも効果的です。

万一、インフルエンザにかかったと思ったら・・・

発熱、咳、関節痛などの症状が現れ、インフルエンザにかかったと思ったら、マスクをしてすぐ病院へ行き、感染が確認されたらタミフルなどの抗インフルエンザ薬の投与をお受け下さい。発症後、24時間（遅くとも48時間）以内に治療を開始することが大切です。

(B) 新型インフルエンザ

2009（平成21）年に世界中で大流行した新型インフルエンザと同じように、鳥などの動物から人へ感染するインフルエンザウィルスによるものです。その対策は、発生からの時期により次のように定められています。

1) 県内未発生期（外国または国内の他の地域で感染者が出ましたが、県内では発生していない時期）

発生した国や地域へ渡航したり旅行した人、あるいはその人達に接触した人々の中で、発熱などの症状が現れた場合には、桑名地区では次の医療機関で診察を受けることができます。： 桑名東医療センター、桑名西医療センター、いなべ総合病院

2) 県内感染期（県内各地に感染が広がった場合）

通常のインフルエンザと同じように一般医療機関で診察を受けることができます。治療には、タミフルなどの薬が有効です。

【くしゃみや咳が出たら、マスクをしましょう。】

<正しいマスクの着用>



【くしゃみや咳をする時には】



※「政府広報オンライン」から転載



桑名南医療センター心臓友の会より

～心臓友の会交流会が行われました～

10月10日（金）に心臓友の会の会員様と職員の交流をより深めることを目的とした交流会を開催しました。毎年交流会では、バス旅行を計画しており、今年は奈良県の東大寺・法隆寺へ行ってきました。

当日はお天気にも恵まれ、絶好の旅行日和となり、会員様もとても楽しそうに大仏や五重塔を見学されていました。

また、バス内での移動中には心臓友の会役員の方々による〇×ゲームなど様々なレクリエーションで職員も一緒に盛り上がり、無事交流会を終えることができました。



奈良の大仏



東大寺大仏殿の入り口。
青空がキレイでした！

バス内でのレクリエーションの1つです。

役員さんが製作したお手玉ヨーヨーを平田医師、芳川医師が実践。認知症予防になるそうです。



法隆寺五重塔。
近づいて見学中。



【新しい医師の着任について】

- ◆12月着任 東医療センター 麻酔科（非常勤）
藤田 義人（フジタ ヨシヒト）医師 <平成元年卒>

学会発表報告

桑名西医療センター 救急部 増田 亨

平成 26 年 10 月 29 日に福岡国際会議場で開かれた第 42 回日本救急医学会総会で桑名西医療センター救急部増田亨医師が一般演題“当院における救急医療での他科専門医との係わり”を 10 分間発表しました。

救急専門医でもある救急担当医が外科専門医、消化器外科専門医、消化器内視鏡専門医、癌治療の暫定指導医の知識を活かして腹部や胸部の外傷外科、気管ステント挿入等の腫瘍関連救急病態の治療、消化管出血の治療を行っている現状を話し、最近は、救急領域に多い、自殺企図やうつに対しても臨床心理士としての知識を活かして、カウンセリング、心理検査をしている現状を報告しました。

フロアから、手術時に手が離せない時や、外来時の救急対応はどうしているかを質問され、内科疾患は内科医が外傷は当該科が対応している事を説明しました。

座長の先生から一人救急医の仕事のねざらいと後進の指導もお願いしますとコメントをいただきました。

救急症例検討会の報告

桑名西医療センター救急部

平成 26 年 11 月 20 日に桑名西医療センター図書室で桑名消防本部と合同の救急症例検討会を開きました。当院に救急搬送された症例のうち示唆に富んだ例を検討しています。



← 症例検討の様子

今回は、自宅で転倒し、多発肋骨骨折をきたし、胸郭動揺（フレイルチェスト）を合併して肋骨固定術で軽快した症例を検討しました。

講義は、当院脳神経外科の黒木香行先生に脳卒中の画像診断について話していただきました。脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血の画像診断だけでなく、神経症状と画像の関係、傷害された神経と障害部位の関係を画像からどう読むかまで、深い内容にもかかわらず、非常にわかりやすく噛み砕いて話していただきました。治療法についても手術の DVD を交えて解説もありました。

普段、画像診断に慣れていない救命士さんからも非常に分かりやすい興味深い講義であったと大好評でした。

参加人数は 70 人を超えて、立ち見が出る状態でした。同じ救急活動に携わる病院と消防の顔の見える関係作りに本会は大変役立っていると考えています。

↓ 講義：『脳卒中の画像診断』の様子



がん患者と家族の方の

おしゃべりサロン in 桑名を開催しました

11月19日、桑名市中央公民館で三重県がん相談支援センター主催の「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン in 桑名」の第1回目を開催しました。桑名市総合医療センターからは医師、看護師、医療ソーシャルワーカーの6名がスタッフとして参加しました。

おしゃべりサロンは、三重県がん相談支援センターが中心となって、がん患者やその家族が集まって、同じ病気を持つ人やその家族の話しを聴いたり、自分の思いを聴いてもらったりするなど、がん患者や家族の精神的サポートや情報提供を行う場として、県内各地で開催されています。

また、サロンはがん患者やがん患者を看取った経験のある遺族やがん患者当事者などのサポーターにより運営されています。さらに、おしゃべりサロンは、医療専門職もサポーターとして参加していますが、医療相談の場にならないよう配慮されています。

参加は無料で申し込みも不要です！



今回のおしゃべりサロンでは、市内外から8名のがん患者の方々が参加してくださいました。サロンでは、参加者が自己紹介した後で、同じがん種等のグループに分かれ、サポーターが参加者に寄り添う形でそれぞれの話を聴きました。治療のこと、日常生活のことなど様々なことが話題になりました。参加者は、はじめ緊張した面持ちでしたが、参加者同士で気持ちを共有することができて、最後は笑顔で帰られました。



次回は3月18日(水)に開催の予定です。



木曾川緩和治療研究会を開催しました

11月11日に、第12回木曾川緩和治療研究会を海南病院で開催しました。

桑名東医療センター外科病棟の小森三恵看護師より「その人らしい最期を迎えるために～統一した関わり～」という題で、マズローの欲求段階説に基づいた看護師の関わりについて症例発表を行いました。

海南病院からは、緩和ケア認定看護師の青木ひふみ氏による「海南病院の緩和ケア病棟のこれから」と臨床心理士の川出英行氏の「死生観を刺激する」という題で発表をいただきました。川出氏からは、患者様が残された言葉をエピソードと共に紹介してもらいました。その言葉は、臨床心理士が患者様の辛さや苦しみに寄り添った時に、残された言葉です。

緩和ケアの現場において、患者様の心に寄り添う存在として臨床心理士が求められていることを痛感させられました。

次回は3月に桑名東医療センターで開催予定です。



『ご遺族の会』を開催しました

桑名西医療センター 緩和ケアチーム

平成26年11月16日(日曜)に桑名西医療センターで第1回の遺族会を開催しました。当院の緩和ケアチーム主催で、当院で緩和ケアを受けてお亡くなりになられた方の家族を対象に開きました。



がん対策基本法では、遺族の悲嘆のケアも医療機関が対処するべきとうたわれていますが、現状ではほとんどの施設で遺族のケアが行われていないのが現状です。



当院では、悲嘆カウンセリング外来の開設に続いて本会を開きました。遺族の方は11人参加され、スタッフ併せて約30人の会でした。黙祷、参加者の自己紹介、外部講師の講話、フリートーク、故人へのお手紙の紹介、悲嘆についての締めの話の段取りを約2時間30分で終わりました。微笑ましいお話、思わず涙してしま

うお話、今後に繋がるお話と真摯であり有意義な時間となりました。亡くなられて1年たった家族にきていただきましたが、Prigersonの悲嘆質問紙表(*)をしていただいたところ、故人を亡くされてから一年以上たっても高値の方がみえて悲嘆が遷延している状態が分かりました。

今後は、この会を継続していくと共に悲嘆ケアの充実に緩和ケアチームで取り組んでいきたいと考えています。

*悲嘆質問紙表とは、19項目の質問に【①まったくない ②まれにある ③ときどきある ④しばしばある ⑤いつもある】の選択肢のうち当てはまるものをお答えいただくものです。

<質問例>

- ・私が普段行っていることが困難になるくらい故人のことを考えてしまう。
- ・大切な人を失ってから多くの時間を1人と感じるなど

糖尿病週間イベントを行いました

日本糖尿病協会は、世界糖尿病デー(11/14)を含む週間を『糖尿病週間』として運動しています。西医療センターでも、糖尿病週間のイベントを行いました。

◆正面玄関でのパンフレットやサンプルの配布

糖尿病を知ってもらおう、興味をもってもらおうとオリジナルのパンフレットを作成し、来院された方に配布しました。さっそく見てくださる方やいろいろ質問される方もいて、とても好評でした。

◆11月14日 糖尿病食事療法セミナー(バイキング方式)

糖尿病の基本についての講義の後、自分の必要カロリーや主食量を計算しました。手ばかり栄養法を使い、実際にバイキング形式で食事を選びました。

今回はみそかつ丼と海鮮ちらし寿司という豪華なメニューで



満足度も十分だったと思います。

終わりに自分の選んだメニューのカロリーや塩分量も計算して振り返りました。

質問や参加者同士の会話もはずみ、楽しく勉強ができました。



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター

桑名市総合医療センター

〈基本理念〉 最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

- 〈基本方針〉
- ① 患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
 - ② 医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
 - ③ 地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的にはたします。
 - ④ 患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくります。

〈桑名西医療センター〉

各種教室のご案内

外来棟3階図書室へお越し下さい。

当院に受診されていない方も、興味のある方はどなたでもご参加ください。
予約制の教室は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

糖尿病教室

日 時：12月18日（木）11：00～12：30（15分前までにお越し下さい）
テーマ：お正月を太らずに乗り切ろう！お正月料理の工夫
参加費：800円（昼食代込み）
＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

肝臓病教室

※偶数月の第一火曜日に開催しています。
日 時：2月3日（火）12：30～14：00（10分前までにお越し下さい）
テーマ：自分の内臓脂肪ってどれくらい？！知ってみませんか
参加費：1000円（昼食代込み） ※体成分測定を行います。
＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

減塩教室

☆3回シリーズで減塩の基本から応用まで説明します。
3回シリーズですが、各会のみ参加でも減塩について学べる内容にしています。
日 時：2月10日（火）12：30～14：00（10分前までにお越し下さい）
テーマ：減塩の基本①
参加費：800円（昼食代込み）
＊予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

◆シャトルバスをご利用ください◆

＊桑名駅と3病院の間を循環しています。

＊始発は桑名駅 8:00 発、最終は桑名駅 16:00 発（桑名西医療センター終着）
＊午前最終は桑名駅 11:30 発、南医療センター11:33 発、東医療センター11:38 発、西医療センター11:50 発（桑名駅終着）です。午後の始発は桑名西医療センター12：50 発です。



地方独立行政法人 **桑名市総合医療センター**



桑名東医療センター（旧山本総合病院）

住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（代表）
FAX 0594-22-9498（代表）
〈地域医療室〉 電話 0594-22-2110
FAX 0594-22-2166



桑名西医療センター（旧桑名市民病院）

住所 三重県桑名市北別所416番地1
電話 0594-22-7111（代表）
FAX 0594-24-1506（代表）
〈地域医療連携室〉 電話 0594-22-7208
FAX 0594-24-1581



桑名南医療センター（旧桑名市民病院分院）

住所 三重県桑名市中央町一丁目32番地1
電話 0594-22-0650（代表）
FAX 0594-22-5608（代表）
〈地域連携室〉 電話 0594-82-6889
FAX 0594-22-5771



【法人事務局】住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（桑名東医療センター代表）



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター